

高山城は鎌倉・室町時代を通じて沼田小早川氏が本拠とした中国地方屈指の山城で、小早川家4代茂平が築城したと伝わります。

高山城は、標高190mの山頂に築かれ、谷を挟んだ南北に曲輪群が配置されているが、曲輪の構成から考えると北側が中心と考えられます。

北側は、中心に本丸・二の丸・北の丸・扇の丸など、南側には、南丸・イワオ丸・権現丸・太鼓丸・西の丸などの曲輪群があります。また、南東下に伸びる尾根筋に堀切があり、城内には7箇所井戸跡があります。

はじめて戦闘の場となったのは南北朝期です。応仁・文明の乱では、竹原小早川が高山城を攻め、落城寸前に追い込まれました。

天文12 (1543) 年には、尼子勢が小早川氏の勢力圏に攻め込み、翌年には、尼子勢が高山城を包囲し攻撃しました。

小早川家の家督を継いだ小早川隆景は、天文20 (1551) 年に高山城に入り、翌年6月には対岸の新高山を改修して移ったことで、本拠城としての役目は終わりました。

城跡への登り口は、南・東からのルートがありますが、やや険しいものとなっています。

交通：JR本郷駅から徒歩20分で登城口。

# 小国史跡 小早川氏城跡

# 高山城跡

(昭和32年12月11日指定)

発行・編集 三原市教育委員会 文化課  
〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5-1  
TEL (0848) 64-9234

協力 三原市文化財協会

平成31年3月29日 発行



新高山城跡

イワオ丸

北の丸

三の丸

本丸

扇の丸

高山城跡のイメージ (東から見た鳥瞰図)

# 高山城跡(見学コース)

大手道から → ①堀切 → ②土塁 → ③イワオ丸 → ④ → ⑤扇の丸の石垣跡 → ⑥本丸 → ⑦ → ⑧二の丸 → ⑨北の丸 → 南丸側から下山



## ① 堀切

尾根筋から登って来た敵を遮断するための深い空堀



## ② 土塁

土を盛り上げた塁で南東の曲輪で確認できる土塁



## ③ イワオ丸

この曲輪には大岩が露出し、広い空間となる柱跡の窪みが3箇所ある



## ④

谷にある平坦地に建築があったと言われている



## ⑤ 扇の丸の石垣

中心に立石を配する手法は吉川元春館跡などと類似している



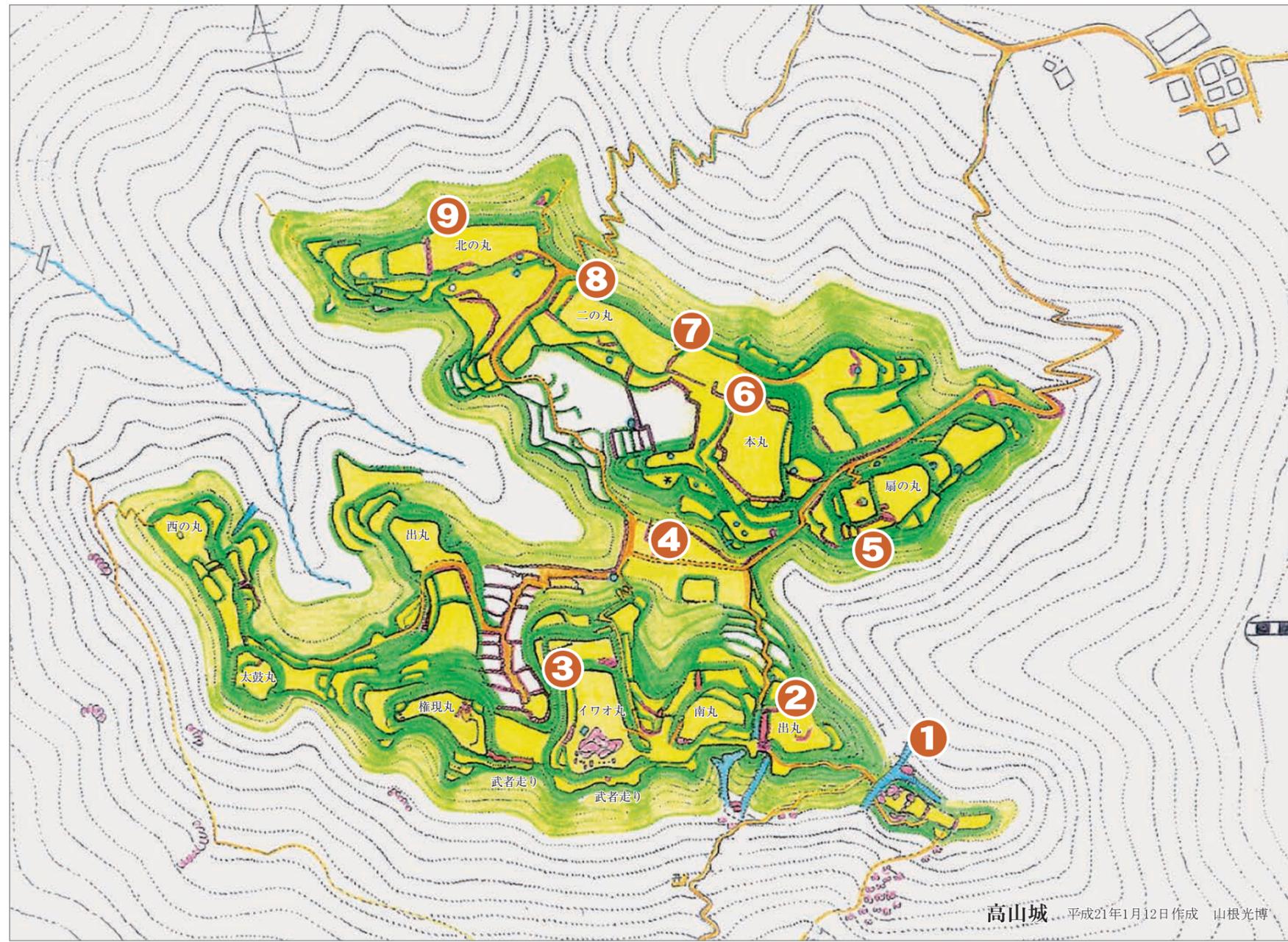
## ⑥ 本丸

高山城の中心曲輪であって周囲の矩面には立石を利用した石垣群がみられる



## ⑦

本丸と二の丸の間の曲輪



## ⑨ 北の丸

東西に伸びる広い曲輪で南方には基壇らしき石積がある曲輪がある



## ⑧ 二の丸

曲輪の東と南側には大石で積まれた石垣が存在する

